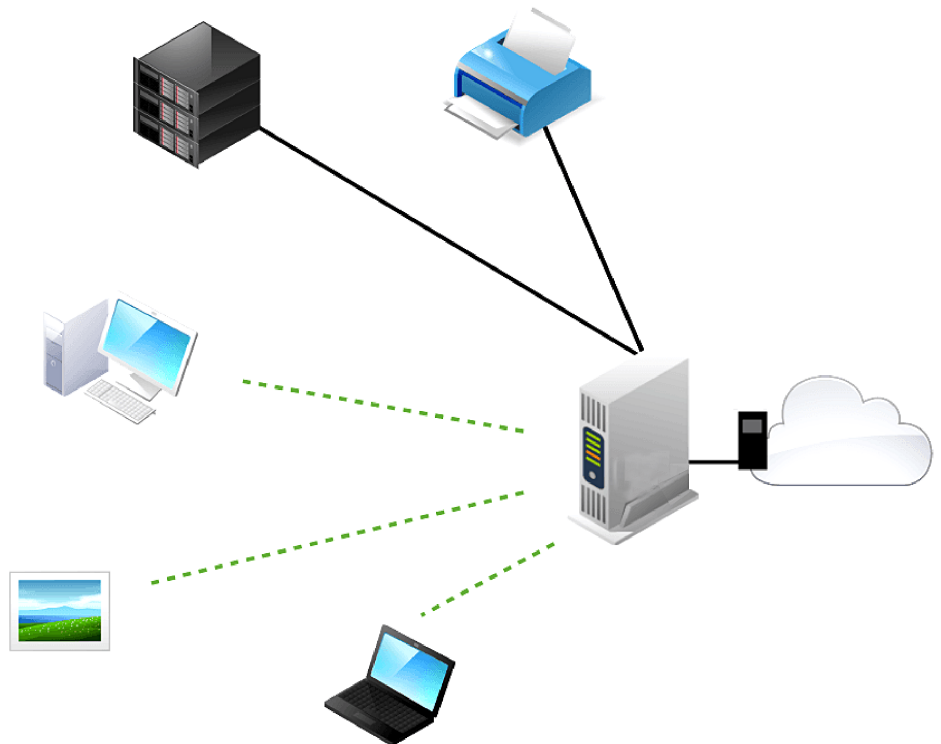


■ 自宅サーバーとレンタル・サーバーの比較

自宅サーバー環境のメリット

- ・ 自分の好みにカスタマイズできる(PHPのバージョンを自由に選べるしCGIも設置できる).
- ・ HD(SSDを)増設すれば大容量のデータを保管できる.
- ・ 自分が Rootの権限を持てるので独自アプリ開発も可能である.
- ・ 転送量の制限が無い.
- ・ 回線を使用していないからアップロードする時間を気にしなくてよい.



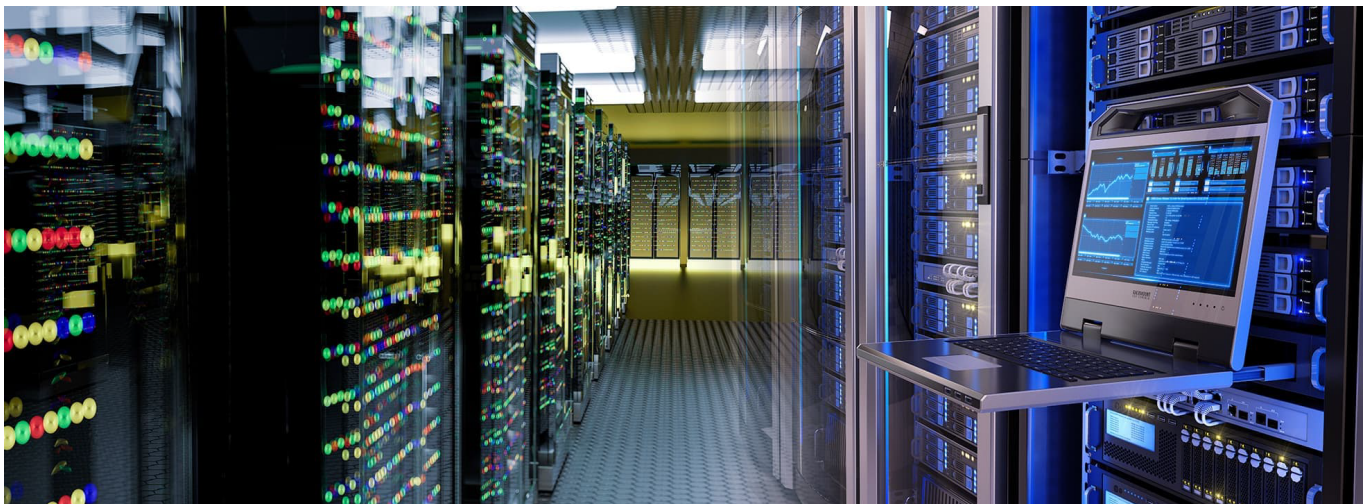
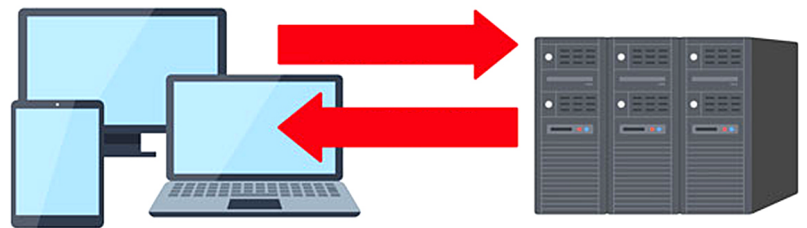
自宅サーバー環境のデメリット

- ・ ネットワーク・サーバー管理に関する専門知識が必要となる.
- ・ 毎月の回線費用(固定IP代と動かしている間の電気代)とサーバー・マシン(本体機器購入費用) + OS を整えるための初期費用がかかる.
- ・ 自宅に設置するために部屋の湿度と温度管理(熱を逃がせるように涼しい環境)が必要となる.
- ・ 定期的にメンテナンスが必要となる(古い機器は火災の原因になりえる).
- ・ 十分なセキュリティ対策が必須(外部からウイルスを仕込まれる可能性有り).
- ・ サーバーが故障したときはダウンするので商用利用やノンストップなサービスの提供を目的とするといった用途には適さない.

※ ここまでの説明では、レンタル・サーバー環境のほうが便利で費用もおさえられると考えられる

レンタル・サーバー(共用サーバー)環境のメリット

- ・ 自分で大容量のハード・ディスクを備えたコンピューターを用意する必要がない。
- ・ 比較的成本が安い。
- ・ サーバーのメンテナンスを自分自身で行う必要がない。
- ・ 自分の設定でセキュリティ対策ができる(セキュリティ対策は一括して運営会社が提供している)。
- ・ サーバーについての専門知識は必要ないので初心者でも利用しやすい。
- ・ Webサイトやブログを手軽に公開できる(無料ブログも利用できる)。
- ・ メール・サービスを利用できる。
- ・ 頑張ればアフィリエイト・サイトも作れる。



レンタル・サーバー(共用サーバー)環境のデメリット

- ・ 数千円ではあるが毎月のレンタル費用がかかる(ハードディスク容量を増やすと料金も上がる)。
- ・ カスタマイズ性が低く自由に仕様(設定)を変更できない。
- ・ レンタル・サーバーの場合、サーバー業者が設置している「大きなサーバーの一部を借りて複数のユーザーでシェアしてもらう」仕組みのサービスであるために色々な制限がかかってしまう(サーバーを1台丸ごと独占できないため PHP のバージョン変更禁止 /MySQLの制限 / CGI使用禁止ルールなどがある)。
- ・ 突然に全てが閉鎖されてサービスが終了する可能性も大いにあるので必ずしも信頼できるとは言えない。

※ さまざまな点から、レンタル・サーバー環境のほうが良いとも言い切れない